

## ■6月3日

ティーウェイ航空(LCC)、佐賀線、7月に正式契約へ

ティーウェイ航空の成哲鎬(ハム Cholho)社長が31日、定期チャーター便・佐賀ーソウル(仁川国際空港)線の就航準備のため、佐賀空港を視察した。成社長は「12月の就航に向け、順調に準備は進んでいる」と述べ、7月に佐賀県と正式契約を結ぶ意向を示した。佐賀新聞が報じた。

同社と佐賀県は4月、路線開設の意向書を締結。正式契約には、6月議会で同社に対する運航支援の承認が必要になる。LCCのソウル便をめぐるっては、県はジンエアーとの間で意向書を交わしていたが、同社が長崎線開設へ方針を変えたため、就航が実現しなかった。

(佐賀新聞)6/1

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.2473459.article.html> (-> <http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.2473459.article.html>)

成田空港 夏目社長、空港検問、顔認証システム、導入可能の認識

東京新聞によると、成田国際空港会社の夏目誠社長は三十日の記者会見で、空港の検問自動化に向けた鉄道駅での顔認証システム実証実験について「空港のセキュリティ上、効果的に使えると確認できた」と述べ、導入可能との認識を示した。

実証実験は空港第2ビル駅で3月18日から5月24日まで、通常の入場検問と並行し、延べ94万人を対象に行われた。現在は空港の安全を守る上で、システムの有効性や効果的な活用の仕方について警備当局と協議を行っている。

一方、同時に実験した爆発物探知装置については「有効性をもう少し検証しなければならない」と、導入に慎重な姿勢を示した。車両ゲートの自動化は「構内道路の変更が必要で、まだ検討中」と話した。

(東京新聞)6/1

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20130601/CK2013060102000134.html> (-> <http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20130601/CK2013060102000134.html>)

(日刊航空)6/3

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0603-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0603-02.pdf>)

ジェットスター・ジャパン(LCC)、初年度赤字5000万豪億ドルの予想—豪マッコーリーアナリスト

(NNA ASIAによると)

日豪企業による合併の格安航空会社(LCC)ジェットスター・ジャパン(JJ)は、初年度の赤字が5,000万豪ドル(48億1,779万円)近くになりそうだ。豪マッコーリー銀のアナリストがこのほど業績予測として明らかにした。規制緩和でJJを含むLCC3社が鳴り物入りで参入したが、日本航空と全日本空輸が占有する市場の厳しさに直面した形。ただ、今後反転する兆しもあるという。

5月31日付オーストラリアン・ファイナンシャル・レビューによれば、マッコーリー銀のアナリストが分析したところ、親会社の豪航空大手カンタスの収益は日本事業の不振に影響されているという。同アナリストは「ジェットスター・ジャパンは短期の事業拡大戦略を検討しており、いずれ前向きな効果が表れるだろう」と述べた。

JJは5月31日に成田～鹿児島線、中部～鹿児島線の運航を始め、国内路線を12路線に増やした。

また、JJはコンビニエンス店での航空券の販売を拡大させるのに加え、日本の顧客がオンライン販売よりも対面販売を好むとし、旅行代理店での販売を強化している。

JJは昨年7月の運航開始後、日本の国土交通省航空局から機体整備に関する厳重注意を受け、東京～大阪間(GK102、GK107)などの主要ルートで、運航ダイヤの運休・変更を実施していた。

## ■日本市場は豪州の6倍

JJには、カンタス、日本航空、三菱商事、東京センチュリーリースが出資している。

カンタスのジョイス最高経営責任者(CEO)は先月、日本国内市場の規模がオーストラリア国内市場の6倍と指摘し、JJの成長への期待を述べていた。また同CEOは、昨年7月から今年4月までの期間に約100万人がJJを利用したことを明らかにした。

JJは、日本国内LCCの中では最多となる13機の機体を運航。そのほかのLCCでは、ピーチ・アビエーションが10機、エアアジア・ジャパンが6機を保有している。

ピーチは全日本空輸と香港の第一東方投資の合併会社。エアアジアには、全日本空輸とマレーシアのLCCエアアジアが出資している。

(NNA ASIA)6/3

<http://news.nna.jp/free/news/20130603aud002A.html> (-> <http://news.nna.jp/free/news/20130603aud002A.html>)

道がLCC利用促進と誘致の取り組み強化

道は格安航空会社(LCC)の利用促進と誘致に向けた取り組みを加速させる。東京や関西から1泊程度で観光できるような旅行プランを各社に提案し、すでに国内3社が就航している新千歳空港だけでなく、地方空港への新規就航も目指す。今秋には道内3カ所で開催

ムを開くなどして、空港からの交通アクセスの充実といった就航時の課題を洗い出す。北海道新聞が報じた。

道の取り組み促進強化の背景には、LCCは大手航空会社よりも個人客の比率が高く、リピーターが多いという点があり、利用者が交通費を抑えた分、観光や食事など道内での消費にお金を掛ける傾向があると分析している。

(北海道新聞)6/3

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/470882.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/470882.html>)

#### AIRDO、3月期決算、増収減益

AIRDOが31日に発表した2013年3月期単独決算(非連結)を発表した。これによると、売上高は452億3,600万円(前期比4.8%増)と5年連続の増収で、過去最高を更新した。一方、営業利益は17億9,800万円(同49.2%減)、経常利益は18億0,600万円(同49.7%減)とそれぞれ半減した。当期純利益も6億4,000万円(同70.5%減)と前期の7割減少、増収減益となった。減益は5期ぶり。エア・ドゥの2012年度の輸送実績は、提供座席キロが前年度比9%増に対し、旅客キロは6%増だった。また、利用率は同2.1ポイント下落の73.5%で推移。

2014年3月期の業績予想については、売上高500億円(前年比10.5%増)、営業利益11億円(同38.8%減)、経常利益10億円(同44.7%減)、当期純利益6億円(同6.4%減)を見込む。2013年度は、羽田—釧路線、札幌—岡山線、札幌—神戸線などの新路線で提供座席が増える。

(日刊航空)6/3

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(AIRDO プレスリリース)5/31

[http://www.airdo.jp/company/press/pdf/2013/870\\_130531.pdf](http://www.airdo.jp/company/press/pdf/2013/870_130531.pdf) (-> [http://www.airdo.jp/company/press/pdf/2013/870\\_130531.pdf](http://www.airdo.jp/company/press/pdf/2013/870_130531.pdf))

#### HAC、国交省より三沢線認可、7月1日に就航

国交省東京航空局は5月31日、北海道エアシステム申請していた三沢空港乗り入れに伴う事業計画変更認可申請に対して、航空法に基づく運航管理施設等の検査に合格したため、同日付で認可したと発表した。HACは7月1日からサブ340B型機により、三沢～札幌・丘珠線を1日1往復運航する計画だ。

(日刊航空)6/3

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

#### 観光庁、訪日外国人の動向、韓国・タイからのLCC利用者の特徴

観光庁は5月31日、LCC利用による訪日外国人観光客の特徴についての分析結果をまとめ、発表した。

これによると、韓国と台湾からのLCC利用の訪日観光客は、女性で30代以下の割合が高く、個人旅行の比率が高いことがわかった。また、LCC利用者は、初来日客の利用率も相対的に高いとの結果になった。

(日刊航空)6/3

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(観光庁)5/31

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02\\_000182.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000182.html) (-> [https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02\\_000182.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000182.html))



韓国・台湾からのLCC利用者動向

観光庁 LCC利用者動向.pdf

Adobe Acrobatドキュメント [749.7 KB]

[ダウンロード](#)

#### ベトナム航空、ダナン—仁川線就航、7月1日から週3便

ベトナム航空は、ダナン市とソウルを結ぶ直行便を7月1日に就航する計画だ。韓国支店のカオ・アイン・ソン支店長が5月30日にソウル市で開幕した「第26回韓国国際観光展」で明らかにしたもので、国営ベトナム通信が報じた。

使用機材はエアバスA321型、月、木、土の週3日往復する。

(NNA ASIA)6/3

<http://nna.jp/free/news/20130603icn004A.html> (-> <http://nna.jp/free/news/20130603icn004A.html>)

**TSA、米国内保安、全身スキャナー撤去、ミリ波へ置き換え**

米運輸保安庁(TSA)は、米国内のすべての空港で後方散乱X線を使用する全身スキャナーの撤去を完了し、ミリ波を使用する全身スキャナーに置き換えた。

2008年に導入された全身スキャナーは、裸体に近い映像が映し出されることによるプライバシー侵害への反発が強く、検査を行う職員の健康被害も懸念されていた。

(Slashdot)6/2

<http://security.slashdot.jp/story/13/06/02/0611258/TSA%E3%80%81%E7%B1%B3%E5%9B%BD%E5%86%85%E3%81%AE%E5%85%A8%E7%A9%BA%E6%B8%AF>

(->

<http://security.slashdot.jp/story/13/06/02/0611258/TSA%E3%80%81%E7%B1%B3%E5%9B%BD%E5%86%85%E3%81%AE%E5%85%A8%E7%A9%BA%E6%B8%AF>